

特集

「相談対応」の技術

こんな相談にどう対応する？

なぜ「相談対応」の場面を振り返る必要があるのか——中板育美

相談対応の基礎技術——中板育美

こんな相談にどう対応する？

母子保健領域で出会う相談——渡辺好恵・ほか

精神保健領域で出会う相談——青木桂子・半澤節子

高齢者保健領域で出会う相談——米澤洋美・神藤潤子

感染症・難病領域で出会う相談——鈴木しげみ

編集後記

●弊誌のような専門誌の編集の仕事は、アマチュアとしての編集担当者とプロフェッショナルとしての専門職者との合作と言えるでしょう。内容についてはアマチュアである私たち編集担当者が専門職のための雑誌作りのお手伝いをさせていただいているわけです。内容を十分に理解できていないとしても、それなりに担当する特集や連載には私たちも力が入ります。そしてそれらについて、思ってもいなかったようなことで誉められることがあるかと思えば、良いと思っていたものがあまり評価されないこともあります。弊誌のような月刊誌ではその結果が1か月ごとに出るわけです。

巻末に毎月お付けしている読者カードは、読者の方のご意見を書いていただくようになっています。特集や連載、その他の記事について、どのように感じたのか一言でもご意見を書いて投函していただくと、編集担当者としては嬉しいのですが、いかがでしょうか。どんな意見でも結構ですので、年間購読申込書の前に綴じ込まれたこの読者カードをご活用ください。Fax やメールもよろしく。

今月は読者カード活用のお願いになってしまいました。が、よろしくお祈いします。m(—)m (杉之尾)

●連載『あの人の思い出カバン』が今号にて終了した。まだ企画が固まらない頃、著者の村中さんは「先輩保健師達が経験した個々の活動を“点”で繋ぎ、“面”として考え、次の世代に伝える必要がある」と私に言った。そのとき、「ベテラン保健師の実践知を次世代へ引き継ぐこと」を、誌面を通じて表現できないかと、連載企画が動き出した。やるからには、単なる人物紹介で完結したら面白くない。保健師としての生き様を通じ、今につなげるエッセンスを抽出させなくてはならない。「保健史」を通じて「保健師」のコアな部分を伝えることができるのか、正直、最初は不安だった。

それを可能にしたのは、類い稀な村中さんの筆力に他ならない。どこか旅情を漂わせる精緻な筆致は、見事に個々の実践をまとめ、全体に通低する事項を抽象化し、保健師の実践におけるナレッジに迫った。多忙の合間を縫ってのご執筆に、改めて御礼申し上げたい。

どの時代にあっても変わらない保健師の力がある。新しい時代の保健師が、連載を通じて少しでもそう感じていただけると嬉しく思う。読者の“思い出カバン”が、充実した保健師活動で溢れることを願いつつ。(和田)

保健師ジャーナル 第65巻3号 2009年3月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2009年年間購読料15,000円(税込,送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600

保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/杉之尾・和田・伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。1348-8333/09/¥250/論文/JCLSが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCLS宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。